

GIGAスクール構想について

—「しなのきGIGAプロジェクト」の進捗状況と今後の取組—

長野市教育委員会事務局 学校教育課



第三期しなのきプラン
全体イメージ図

「GIGAスクール構想」推進の基本理念

授業等における1人1台端末の効果的な利活用をとおして、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、すべての子どもたちの**自学自習の資質能力**を伸張する。

令和5年度内に… “Any^{for} 4 All ! ”

Anytime

必要な場面で

Anywhere

最適な場所で

Anyone

多様な他者との交流・協働に

Anyway

目的に応じて自由自在に



ICT端末を学びに活用できる能力と環境をすべての子どもに

令和3年度

令和4年度

令和5年度

令和6年度

令和3年8月
1人1台端末の
配備完了

令和3年度内(予定)
「円滑な利活用の促進に向け
た考え方」整理・公表(文科省)

令和4年度内(予定)
ネットワークの整備完了

令和6年4月(予定)
デジタル教科書導入
(文科省)

- 教職員の指導力向上
- 家庭と地域への啓発・協力依頼

I

1人1台端末による
学びの深化・転換

- (1) オールインワンソフト「ミライシード」を軸に進める授業改善
- (2) 多様な教育課題への対応
- (3) 家庭学習の充実

II

情報活用能力
(実践力の育成)

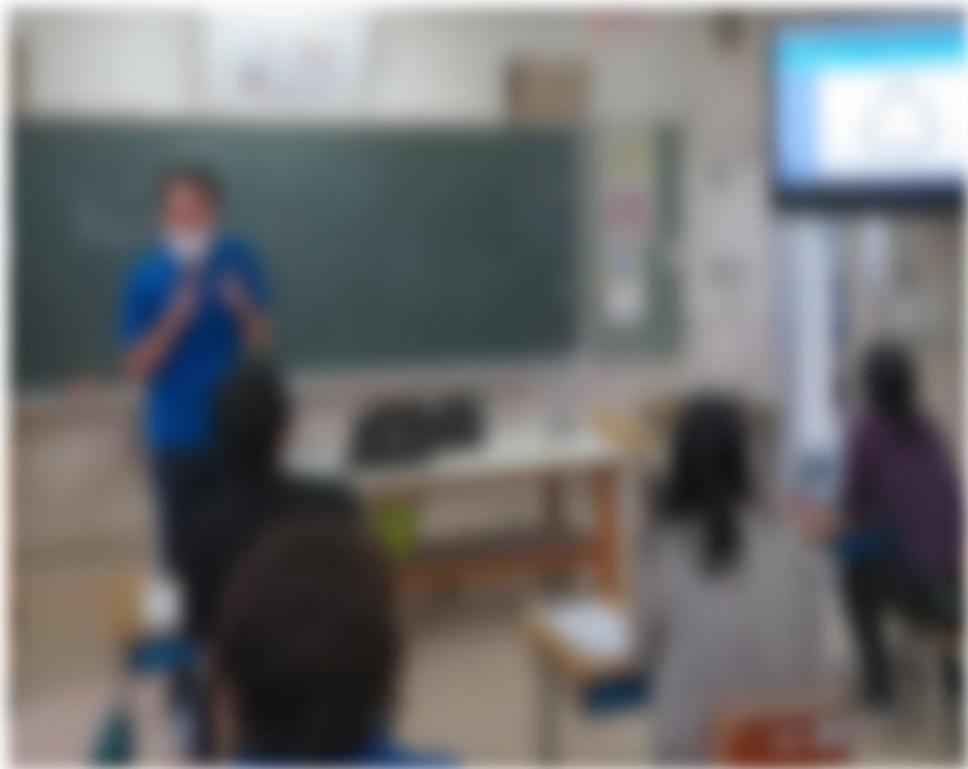
- (1) スタートアップメニューの提供
- (2) 実践力育成のための指導計画の作成・運用

III

ICT環境の充実

- (1) 校内のICT環境整備
・通信環境 ・人的環境
- (2) 多様な学習場所の提供
・家庭 ・公共施設

教職員の指導力向上



■各校で進めている職員研修

- ・令和2年度から令和3年度にかけて、指導主事等による学校訪問や校内の情報主任による研修会等により、授業の中で1人1台端末の活用方法について研修を進めている(上記写真:授業の中で、教員が学習カードを作成・送信し、児童からの返信内容を全体で共有する操作方法について体験しているもの)。

オールインワンソフト「ミライシード」を軸に進める授業改善

ミライシード

学習履歴の一元管理ができる
「オールインワンソフト」

ソフト

ドリル学習

ドリルパーク



多数の問題



授業支援

オクリンク



一斉学習

協働学習

ムーブノート



個別学習



■ 小5年 算数「三角形の面積」

- ・ミライシードは、オクリンク(授業支援ソフト)、ムーブノート(協働学習支援ソフト)、ドリルパーク(個別学習ドリル)等からなるオールインワンソフトである。
- ・各校では、ミライシードを軸にして、3つの柱の一つ「1人1台端末による学びの深化・転換」を目的に授業改善を進めている(右上写真:三角形の求積方法について各児童の考え方をオクリンクを使って共有している場面)。

多様な教育課題への対応(不登校)



■ 小6年理科「土地の作りと変化(火山)」

- ・検索機能等を利用した調べ学習。
- ・不登校児童への支援として該当家庭へZoomでのオンライン配信を実施。
- ・担任は適宜チャット機能を利用して、オンライン上で不登校児童と関わる。

多様な教育課題への対応(特別支援)

7



■ 中2年 美術「コマ撮リアニメーション」

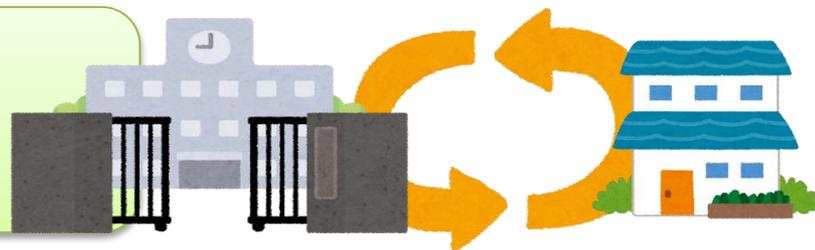
- ・アプリ「ストップモーションスタジオ」を使って、コマ撮リアニメの作成。
- ・特別支援学級でも同様の授業を行っていて、教室以外でも作品作りに没頭している生徒の姿があった。

目的



第三期しなのきプランの中核「自学自習の資質能力」の伸張に向け、家庭学習においても1人1台端末活用による学習を取り入れることによって、個別最適な学びと協働的な学びの一層の充実を図る

学校での学びと
家庭での学びの一体化



家庭での端末活用の想定

■ 平常時での家庭学習

- ▶ 授業の予習、復習(オクリンク/ムーブノート 等)
- ▶ 自己の学習状況に応じた内容(ドリルパーク 等)
- ▶ 発表資料作成(Office365 等)
- ▶ 自分の興味関心に応じた探究的な学習
(ネットでの情報収集 等)

- 学級閉鎖時等(感染症、災害等)
- 個別支援(不登校、コロナ不安等)
- その他(生徒会活動等)

※ は、すでに実施(今後も継続)



令和4年9月から開始



- ◇ 「自学自習の資質能力」の伸張を目的に、1人1台端末における各機能を活用しながら、各校の計画に従い、全校、学年、学級、個々等の実態に応じて、学びたい時に学ぶことができる家庭学習を開始する

スケジュール「1人1台端末を活用した家庭学習に向けて」

R3. 7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4. 1月	2月	3月	R4. 4月	5月	6月	7月	8月	9月~	
WGによる検討開始 ・端末利用のきまり ・情報モラルカリキュラム ・活用事例の収集 等				モデル校による試行		取組例の提供		各校における試行 例：高学年から曜日指定で実施開始 ：オンラインからオンラインへの段階的移行 ：簡易的機能活用等から段階的实施						端末活用による家庭学習の開始	
				各校における持ち帰りに向けた準備											

※ WG：ワーキンググループ校の略。11月からWGをモデル校として試行を開始。

「各校における持ち帰りに向けた準備(R3.11月～3月)」に関すること

◇ 端末機能の積極的活用

→(例) ミライシードのドリルパーク等による自主的な学習や、アプリを利用した各教科の学習



◇ 情報モラル教育の推進

→(例) 道徳等の授業やメディアコーディネーターによる講義等

◇ WEB会議システムの積極的な活用(臨時休業等の対応)

→(例) 複数の教室を利用したオンライン学活やオンライン授業

◇ 家庭以外でのタブレット端末を活用した学習の場の提供

→(例) 放課後や長期休業等における学校利用、公民館などの公共施設利用に向けた環境整備等

- ◇ タブレット端末を活用した家庭学習の内容
- ◇ 家庭に持ち帰る上での留意点及びルール等
- ◇ 家庭学習のために必要な通信容量等
- ◇ その他(試行によって生まれる課題点等)



「各校による試行(R4.4月～8月)」で検討すること

- ◇ モデル校の取組と各校の準備を基に、実施方法や内容を
決め出し、試す
- (例) ・高学年から実施を試行し、段階的に全校に広げていく
・オフライン機能から試行を開始する 等



- ◇ 市教委から各家庭へ通信費負担を含む通信環境整備の協力を依頼
- ◇ 通信環境の整わない家庭へのルーター等の貸出準備
(通信費は家庭負担)

(再掲)

- ◇ 家庭以外でのタブレット端末を活用した学習の場の提供
→(例) 放課後や長期休業等における学校利用、公民館などの公共施設利用に向けた環境整備等

